

2024年には

40億人

がデジタルウォレットを利用するようになります。

獲得可能な市場 - 日常的なアクティブユーザー数（2024年）

13億人 のアクティブユーザー

ユーザー数の年間平均成長率13%

モバイル決済の世界市場規模（2024年）

5.5兆ドル に到達

2020年から2027年までのCAGR 30.1%に基づく。

参考文献

1. [https://www.nfcw.com/2020/10/09/368511/digital-wallet-user-base-to-increase-to-4bn-by-2024/#:~:text=The%20number%20of%20digital%20wallet,the%20World%20Payments%20Report%202020.&text=%E2%80%9CContactless%20\(tap%2Dto%2D,saying%20they%20used%20them%20often](https://www.nfcw.com/2020/10/09/368511/digital-wallet-user-base-to-increase-to-4bn-by-2024/#:~:text=The%20number%20of%20digital%20wallet,the%20World%20Payments%20Report%202020.&text=%E2%80%9CContactless%20(tap%2Dto%2D,saying%20they%20used%20them%20often)
2. <https://www.paymentscardsandmobile.com/the-inevitable-rise-and-rise-of-the-digital-wallet/>
3. <https://www.globenewswire.com/news-release/2020/10/05/2103600/0/en/Global-Mobile-Wallet-Market-Is-Expected-to-Reach-7-58-Billion-by-2027-Says-AMR.html>

日本のキャッシュレス市場がもたらす可能性

HolyWallyは、日本のダイナミックな決済環境を魅力的な市場であると考えています。

キャッシュ利用は急速に減少。 FISによると、2021年の日本における現金でのPOS決済のシェアは前年比**15%減**（前年比7.8%減）となりました。消費者はパンデミック時に現金に触れないよう、デジタル決済を選択した可能性があります。

eコマースが拡大。 小売業全体に占めるeコマース売上高の割合は、近年着実に増加しており、デジタル決済の規模が拡大していることがわかります。Insider IntelligenceのeMarketerの予測によると、**日本のeコマース売上は2022年に1687億ドルに達し**、日本の小売総額の11.9%を占めると予想されています。

政府はキャッシュレスを目標化。 日本政府は、2025年までにキャッシュレス決済の比率を、昨年の約20%から**40%以上**に引き上げたいとしています。同時に、デジタル決済利用の**奨励**が観光業を支援し、国内の金融機関におけるイノベーションが促進されることを期待しています。



問題点

デジタルウォレットの構築にはコストと時間がかかるだけでなく、規模拡大には困難が伴います。

デジタルウォレット投資

24か月以上

100万ドル

ソリューション

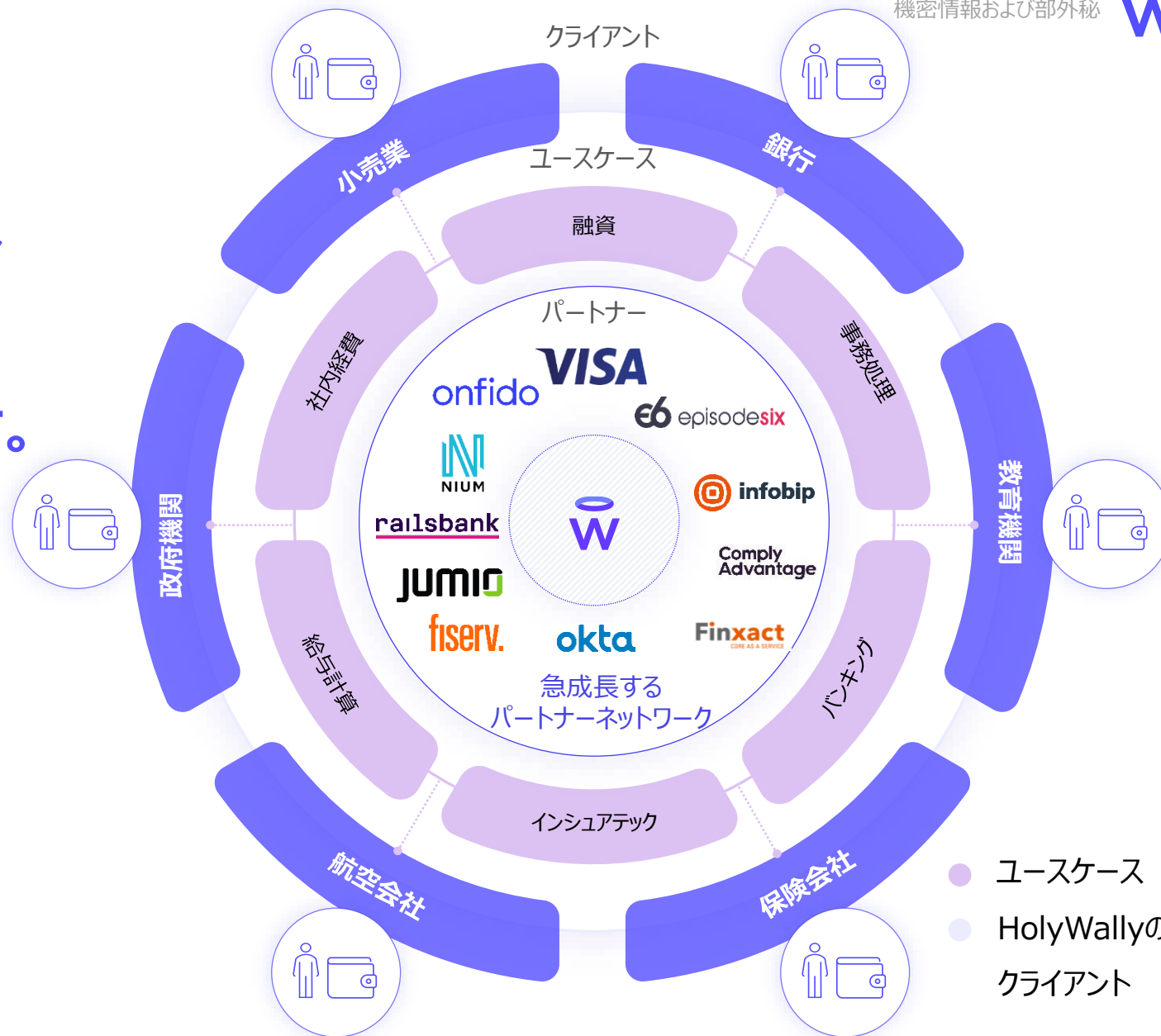
機密情報および部外秘



口座・カード発行会社向けのホワイトラベルウォレット・アズ・ア・サービスで、市場投入までの時間を短縮し、お客様により適した体験を提供します。

当社独自の価値：

モジュール型で高いカスタマイズ性
豊富な製品およびパートナーネットワーク
スケーラブルで安全、かつ安定したクラウドネイティブプラットフォーム



HolyWallyが東京都民のためにできること

渋谷区、港区、江東区など都内各所で利用でき、その場所の都民のニーズに合わせてカスタマイズできる「東京マスターウォレット」を構築します。



後払い決済と保険

P2P決済
(個人間送金決済)

APIアグリゲーション

貯蓄管理

非接触型決済

共同での予算編成

カードの発行と管理

複数通貨

ロイヤリティとリワード



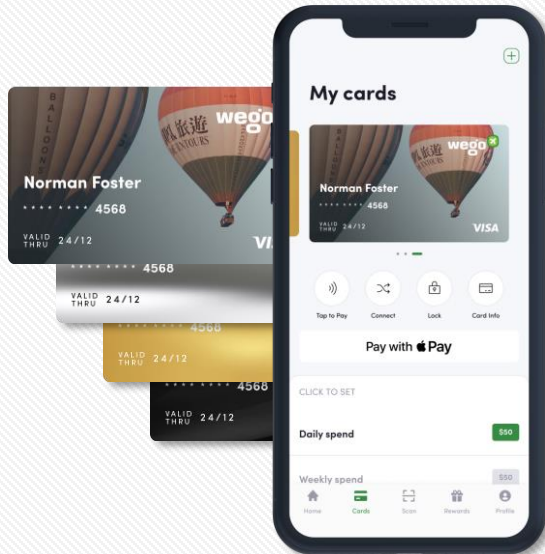
TOKYO
METROPOLITAN
GOVERNMENT

holywally

グローバルなカード管理

複数のホームを、1枚のカードで

- 東京ウォレット内で、他の銀行や金融機関のすべての口座、残高、取引データを閲覧できます
- 他のカードをアプリに読み込み、東京カードと関連付けることが可能です



[現在のHWのケイパビリティ]

今日可能なサポート

現在、当社のコアカード機能により、ユーザーは次のことが可能です

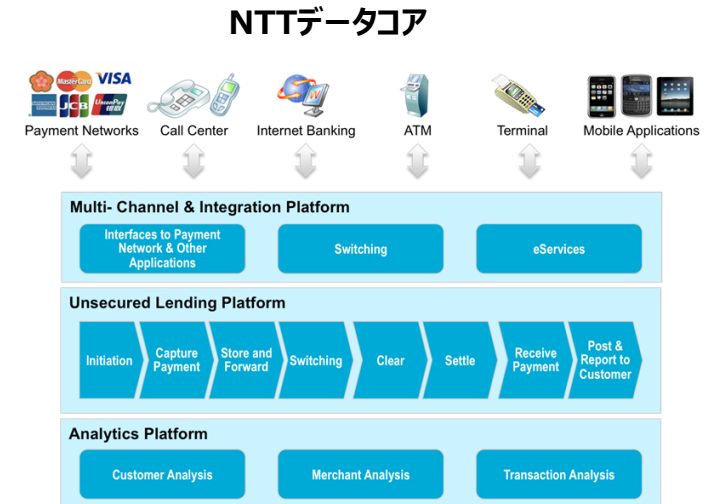
- 仮想カード、物理カードの発行
- カード情報の参照
- カードコントロールの設定
- カードの無効化と有効化



[将来のHWのケイパビリティ]

将来可能となるサポート

- NTTデータなどのオープンバンキング・プラットフォームと統合し、口座、残高、取引、IDデータにリアルタイムにアクセス
- ユーザーは、すべてのアカウントを単一のビューで管理



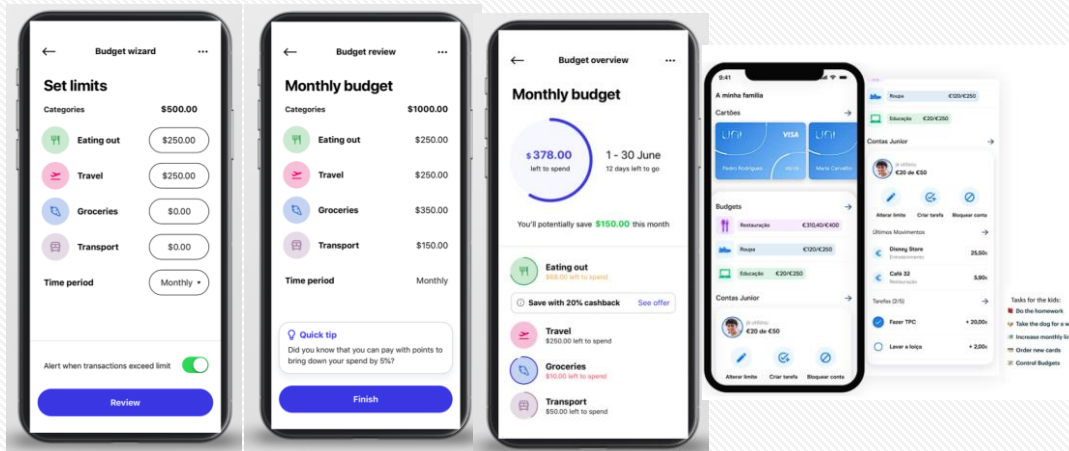
東京ウォレットの例

家計管理



家全体を片手で管理

- 家族のカードを1つのウォレットに収納できます
- お小遣いをスケジュール化して支出をチェック、家計を管理します
- お子様のためのジュニアアカウントを開設できます
- チャレンジを設定し、クリアして報酬を獲得することが可能です



[現在のHWのケイパビリティ]

今日可能なサポート

現在の予算編成機能により、ユーザーは次のことが可能です

- 予算カテゴリーの作成
 - 各カテゴリーの予算枠を設定
 - 各トランザクションに手動でカテゴリーを割り当てる
 - 支出の追跡
-
- 1枚のカードで複数のウォレットを関連付けることにより、親は自分のウォレットからお子様のカード利用を把握することができます

[将来のHWのケイパビリティ]

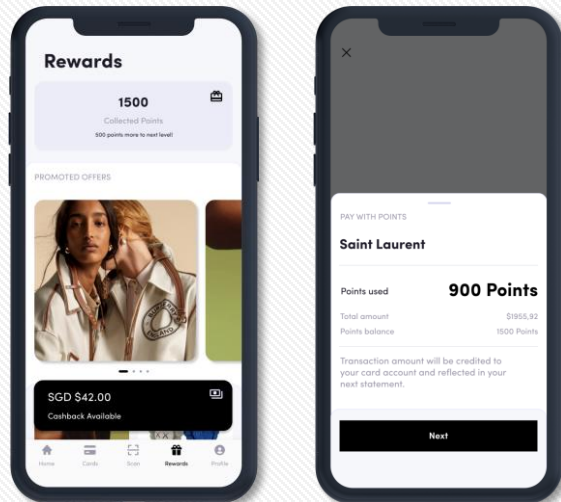
将来可能となるサポート

- MCCコードに基づき、各取引に自動的にカテゴリーを割り当てる
- 複数のウォレットにまたがる予算カテゴリーの作成とトラッキング

リワードとロイヤリティ

顧客ロイヤリティの向上

- 購入時にポイントの獲得が可能です
- オンラインと店舗の両方で、ポイントでのショッピング代金の支払いが可能です



[現在のHWのケイパビリティ]

今日可能なサポート

ロイヤリティ・パートナー（Ascenda Loyalty）との統合により、お客様のロイヤリティ・プログラムを管理するために必要なツールを提供

ロイヤリティ・コンソール - ユーザーのデータとリワード・プログラムを管理

ロイヤリティ・エンジン - ポイント、リワード、プッシュ通知、またはサードパーティサービスへのトリガーにより、顧客のあらゆる活動に対応するルールを作成

カード連携 - 連携したデビットカードやクレジットカードで顧客が買い物をするたびに、取引データを受け取り

[将来のHWのケイパビリティ]

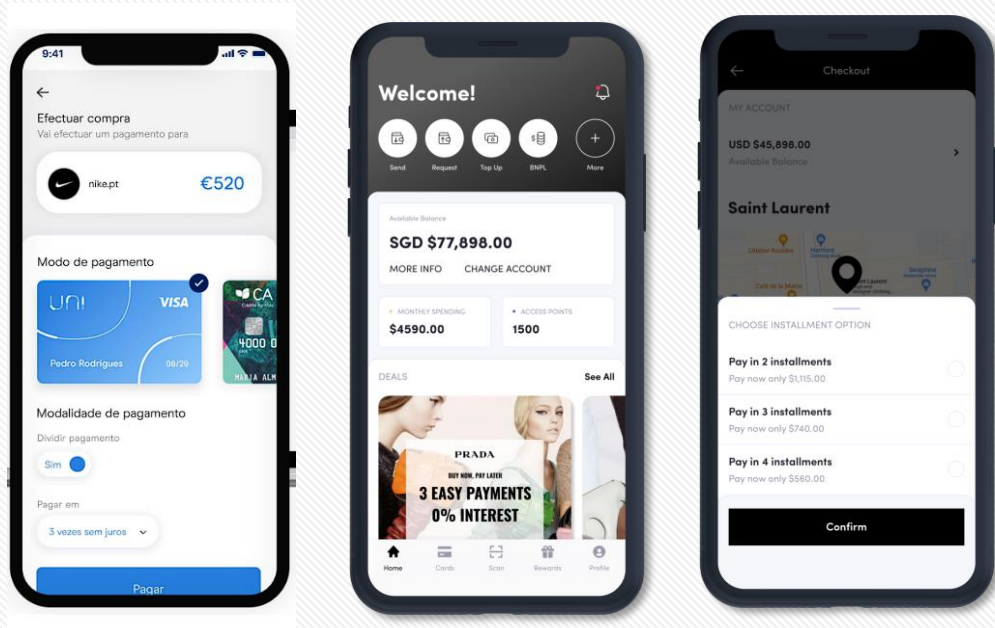
将来可能となるサポート

- アナリティクス・パートナーネットワーク
- ロイヤリティとマーチャントネットワーク

決済

独自のオンライン決済方法

- オンライン上の提携店舗で「東京ウォレットでお支払い」を使ってチェックアウトすることにより、より便利で柔軟に支払いを行えます
- アプリから直接、分割払いの選択ができます



[現在のHWのケイパビリティ]

今日可能なサポート

- **プッシュプロビジョニング** - Apple PayやGoogle Payとカードの連携
- **アプリ内決済** - サードパーティウォレットにカードを接続することにより、アプリ内で直接Google/Apple Payによる決済が可能
- Android端末を使った**Tap to Pay**
- 異なるウォレットへの**P2P決済**

[将来のHWのケイパビリティ]

将来可能となるサポート

- **EMV QRコード決済**
- **デジタルカード発行** - デジタルカードはユーザーの携帯電話内のみ存在し（物理的なカードは発行されません）、カード情報もユーザーのプライマリーカードとは異なる。ユーザーは物理カード紛失のリスクを回避できるほか、プライマリーカード情報を共有せずにオンライン購買ができるため、安全性を確保できる
- **イシュアール・ペイ** - アプリで直接Tap-to-Payを可能に
- 決済を受け付けるための**マーチャントPOSウォレット**

共同設立者



金融サービス、イノベーション、デジタルデリバリーの分野で深い経験を持つFintech専門家です。



John
Rutledge,
CEO



Veljko
Vasic,
CSO



Ivan
Bajalovic,
CTO

以下の企業向けにフィンテックソリューションを構築、拡張しています

